

8月10日：エネルギー、水産関連株が買われ、VN指数は続伸

エネルギー、水産関連株が値を戻し、ベトナム株は上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は0.19%高の1,362.43ポイントで取引を終えた。

騰落別では217銘柄が上昇し、97銘柄が下落した。

同指数は前日1.37%上昇し、終値は1,359.86ポイントだった。

出来高は引き続き高水準で、売買高は7億1,650万株で、売買代金は23兆（10億米ドル）だった。

VN30指数は0.23%安の1,494.41ポイントだった。

同指数採用銘柄のうち、12銘柄が上昇、17銘柄が下落、1銘柄は変わらずだった。

同指数採用銘柄の中で、最も上昇が目立ったのはビナミルク（VNM）とペトロベトナムガス（GAS）。ビナミルクは2%近く上昇し、ペトロベトナムガスも3%を超える上昇となった。その一方でマサングループ（MSN）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、カンディエン不動産（KDH）はそれぞれ1%を超える下落となった。

石油ガス関連株は取引終盤で上昇が目立った。ペトロベトナム・総合サービス（PET）ペトロベトナム・ドリリング（PVD）は共にストップ高を付け、PVオイル（OIL）、ビンソン製油石化（BSR）、ペトロベトナム・テクニカルサービス（PVS）はそれぞれ6%を超える上昇となった。

水産関連株も力強い上昇となった。ミンフー水産グループ（MPC）、ビンホアン水産（VHC）、メコン水産（AAM）はそれぞれ1%以上上昇した。

「ワクチン接種を加速させる政府のタイムリーなコロナ対策を受けて、投資家は自信を取り戻し、株価は復調している」（KB証券ベトナム）

「しかし現在、新型コロナウイルスの感染拡大は収まっておらず、再びマーケットでは売りが出る可能性がある」（同証券会社）

「2020年3月以来、マーケットは4度の下落局面を経験した。昨年3月末の予想外の急落を除き、昨年6月と今年1月そして直近7月の下落は全て予想がついていた」

（パッション投資ファンド運用会社の代表、La Giang Trung氏）

「今年7月、VN指数は13%下落した。同指数は短期の底値を形成した可能性がある。それぞれ売られた後、同指数はたびたび30%近く上昇した。それゆえVN指数は年末までに1,600～1,700ポイントに到達する可能性がある」（同氏）

ハノイ市場のHNX指数も1.33%高の335.08ポイントだった。

売買高は1億6,150万株で、売買代金は3兆9,000億ドンだった。

同指数は前日1.6%高の330.68ポイントで引けていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。